

平成24年度 第4回

公益社団法人 地盤工学会
出版企画委員会
議事録

日時：平成24年10月3日（水）14：00～17：00			会場：地盤工学会地階B会議室		
委員長 荒瀬 義則	○	幹事長 楡井 一昭	○	幹事 橋 伸也	○
幹事 仲山 貴司	×	委員 土屋 光弘	×	委員 山木 正彦	×
委員 福村 一成	×	委員 小川 鉄平	×	委員 和田 健一	○
委員 森口 周二	×	委員 杉本 映湖	×	委員 中井 宏	×
委員 小川 和也	×	委員 森 淳子	○	委員 渡邊 康司	○
オブザーバー 李 圭太	×	オブザーバー 清木 隆文	○	オブザーバー 川井 康右	×
事務局 内藤 千愛	○				

《報告・確認事項》

1. 議事録担当者……(別紙-1)

- ・ 森が指名された。

2. 前回議事録(8/3)の確認……(別紙-2)

- ・ 承認された。

3. 理事会(9/28)報告……(別紙-3)

- ・ 荒瀬委員長より報告された。
- ・ 公益出版部からは、売上と出版の進捗状況が報告された。
- ・ 地盤品質判定士資格制度については、存在意義は認められるが、確実に採算が取れるようにする必要があるという意見があり、さらに検討を続けていく(企画部)とのことである。
- ・ 財政の健全化のため、3年間で毎年10%の経費削減を目指すことを確認した。

4. 事業部関係収支報告……(別紙-4)

- ・ 現在、実績が予算に追い付いていないので、上半期のチェックをし、下半期に生かすことを検討する。特に収益を上げる方策を考えていく。
- ・ 公益出版部と基準部で連携して販売戦略を立てることで、学会全体の収益を向上させることが可能なのではないかという意見が出された。この件については、今後理事会等に提案していくこととした。

5. 各編集委員会および出版作業進捗状況、講習会開催報告……(別紙-5) (添付資料-1)

- ・ 各編集委員会担当委員、清木オブザーバーおよび内藤事務局より、各出版作業進捗状況について報告があった。
- ・ 「杭基礎のトラブルとその対策(改訂版)」に関して、各協会を対象としたアンケートを実施する予定だが、アンケート依頼文書を誰名義で作成するかといったルールを知りたいという問い合わせがあった。事務局で過去の事例を調べ、無ければ新たに作成することとした。
- ・ 「役立つ地盤リスクの知識とその対応」に関して、転載許諾の書式の問い合わせがあった。担当委員が許諾の対象者リストを作成し、事務局ではそのリストを踏まえて、過去の事例などを確認していくこととした。
- ・ 出版作業進捗報告の書式または要報告事項リストのようなものが欲しいという要望があった。

6. その他

公益出版部について……(別紙-6)

- ・ 部会を年に4回程度開催する。出版企画委員会からは、委員長、幹事および渡邊委員が部員として参加する。

改訂本「建設計画と地形・地質」「根切り工事と地下水」前編集委員長からのコメント……(別紙-7)

「建設計画と地形・地質」について

- ・ 前編集委員長からのコメント：新知見を加える程度の変更あるいは全面改訂どちらでも良い。全面改定の場合はタイトルも変えてほしい。

- ・ 基本的には新知見を加える程度の改訂とする。改訂版編集委員長として推薦された人物には、荒瀬委員長から連絡をとり、その後、編集担当を決めて改訂をすすめる。

「根切り工事と地下水」について

- ・ 前編集幹事よりコメント：改訂版については内容だけでなくタイトルも再検討してほしい。事例（土木、特に道路系）を充実させる必要がある。
- ・ 編集委員長として推薦された人物は現在、他の書籍も担当されているので、そちらの目途がつき次第、荒瀬委員長から改訂を打診していく。

廃棄本の扱いについて

- ・ 状態別に分類された廃棄本を閲覧した結果、すぐに廃棄処分にはせず、状態が普通～良好なものは購入者の同意を得たうえで販売、悪いものは割引するか無料にする方向で検討していくこととした。

技術普及委員会との連携について……(別紙-8)

- ・ 今後、情報交換をすすめていく。出版企画委員会側からは議事録、図書出版作業進捗情報をお渡しし、講習会計画などに生かしてもらう。

《審議事項》

1. 新企画出版計画について……(別紙-9)

- ・ 橋幹事より、新企画を出すために以下の2点が提案された。
 - 1) 会員に出版希望アンケート
 - 2) 研究委員会に今の活動などをまとめて書籍として出版したいという要望がないか問い合わせ
- ・ 今後、アンケート具体案を作成し、議論を進めていく。

2. 在庫本の取り扱いについて……(別紙-10) (添付資料-2)

橋幹事より、検討が必要な書籍リストが提案された。

- 1) 過去5年に見直し評価が無い書籍
 - ・ 該当する書籍：「設計用地盤定数の決め方 - 土質編 -」, 「入門 16：支持力入門」, 「入門 18：土の圧密入門」, 「実務 6：地盤調査・土質試験結果の解釈と適用例」
 - ・ これらの書籍については、メールで担当者を募り、見直し作業を開始していく。
- 2) 過去5年に見直し評価がなされ、「継続」判定された書籍
 - ・ 該当する書籍：「君ならどうする？ - 倫理問題事例集 -」^注, 「実務 27：薬液注入工法の理論・設計・施工」 「N値とc・φの活用法」^注大学で教科書として使用
 - ・ 増刷する方向で、以下の順で検討していく。1) 事務局で予算を確認, 2) 事務局で過去の販売数データの資料を整理, 3) 年末ころまでに委員会で初期部数推定式（川井の式）などを用いて増刷部数を決定。
- 3) オンデマンド化判定された書籍について
 - ・ オンデマンド化が滞っているため、増刷を再検討する必要がある。

3. 刊行物販売促進策について

- ・ 前回決めたとおり。追ってメールで意見交換する予定。

4. その他

組織改編に伴う委員会細則の見直し…… (別紙-12)

- ・ 荒瀬委員長と事務局で見直し作業を行い、メールで委員による確認を行う。主に名称の変更になる予定。
- ・ 11月の理事会で承認を目指す。
- ・ 「公益」出版という名称に合わせて、出版物の企画方針などが今後変わっていく、または変えていく必要があるのかについては、今後議論していく必要がある。

次回委員会開催日：平成24年12月13日（木）14：00～17：00 地盤工学会 地階A会議室